

第1節 産業の振興と発展

第1項 地域に根差した農業の振興



1. 目指すこと

農地の適切な管理及び活用を推進し、農業の振興を図り、産業の維持継続を支援します。学校給食や各販売所を通じて地産地消を進めるとともに、認定農業者を中心とした多品種生産、高収益農業を目指します。

2. 現状と課題

- ・ 農業従事者の高齢化と担い手不足による遊休農地の増加、管理者不足による農業用水路などの農業用施設の荒廃、維持管理の負担が増加しています。
- ・ 市街地では、都市化の影響から農地の集積・集約が困難であり、大規模な農業が難しい状況です。
- ・ 農業者減少に伴う遊休農地の増加により、山間部との緩衝帯が減少し、野生鳥獣被害が増加しています。



農業祭

3. 施策の展開

○遊休農地解消の推進

- ・ 農業者確保や遊休農地の解消に向けて関係機関と連携するとともに、資源豊かな地域づくりの推進を強化し、野生鳥獣被害防止施策を実行します。

主な取組

- ・ 農地パトロールの実施、休耕地における所有者への意向調査及び利用希望者への紹介
- ・ 新規就農の支援
- ・ 野生鳥獣被害防止のための電気柵、防護柵の設置に係る支援
- ・ 特定農地(町民菜園)の有効活用

○地産地消の推進

- ・ 町で作付けされた食材を手に取りやすくするための活動を推進します。

主な取組

- ・ 農業祭や農産物即売会の実施による地元農産物の消費拡大の推進
- ・ 新たな販売先の確保
- ・ 農産物の大切さを伝える食農教育や学校給食への食材提供

○農業用施設の維持管理

- ・ 農業用水路等の農業用施設について維持管理、改修を実施します。

主な取組

- ・ 農業者の要望に基づく調査及び修繕
- ・ 随時点検に基づく老朽箇所計画的な改修

関連個別計画

- 下諏訪町農業経営基盤の強化に関する基本的な構想 2024年度
- 地域農業経営基盤強化促進計画 2024年度-2033年度



第1節 産業の振興と発展

第2項 工業・デジタル関連産業の振興

1. 目指すこと

町の主要産業となる工業のDNAを絶やすことなく、「ものづくりの町」として培ってきた町内企業が誇る高い技術力を継承・発展させるため、ものづくり支援センターを核として、町と商工会議所が連携し、町内企業に対する販路拡大のサポートをはじめ、社会の変化に対応したDX化の推進やゼロカーボン等への取組に対して積極的に支援を行い、産業基盤のさらなる強化と町内企業の持続的成長を実現します。

デジタル関連産業の振興を通じて、伝統あるものづくりの力と新たなデジタル関連技術の融合による相乗効果を生かし、産業の多様化による雇用の創出を推進し、地域産業の革新と町の未来を牽引する技術者の確保と育成を図り、全国から人や企業、仕事が集う産業地域の実現を目指します。

2. 現状と課題

- ・近年、激化する海外競争や高齢化、後継者不足により町内の工業関係企業は減少傾向にあります。町内企業の組織形態は、約半数が4人以下の小規模企業であるため、高齢化と世代交代に苦慮しており、技術者の雇用や人材の確保が難しい状況となっています。
- ・企業間連携の強化と既存の技術や技能を高めながら新分野・新市場への進出、技術研究、全国からの人材確保など企業、業種、分野の垣根を越えた総合的なネットワークの構築が必要とされています。幅広い層への雇用の創出やソフト産業との融合による業務の効率化、町の課題や特性を踏まえた企業誘致と産業集積の推進による地域経済の活性化が期待されています。

3. 施策の展開

○ものづくり支援センターを核としたワンストップサービスの提供

- ・社会の変化とともに多様化・複雑化する町内企業のニーズや課題に対応するため、様々な関係機関と連携し、支援を行います。

主な取組

- ・関係機関との連携による新分野、新市場への展開と支援
- ・受注確保や技術の高度化への支援
- ・経営サポートの充実や各種補助金、支援制度の利用促進
- ・販路開拓やマーケティング強化への支援
- ・町内事業所におけるDX化への支援

○人材育成と事業継承の体制整備

- ・全国から人や企業、仕事が集う産業地域を目指し、関係機関との連携による技術の継承や次世代経営者・後継者の育成、町の特性を生かした企業誘致を推進します。

主な取組

- ・デジタル関連企業の誘致及び環境整備
- ・首都圏などからの技術者の移住促進
- ・事業継承に係る支援体制や制度の検討
- ・人材育成と後継者の育成
- ・空き工場などを活用した企業誘致への支援



第1節 産業の振興と発展

第3項 活力ある商業の推進

1. 目指すこと

市場や生活の多様化などの変化に対応し、地域のつながりを大切にしたい、利用者のニーズに応える商業の維持・発展を目指します。

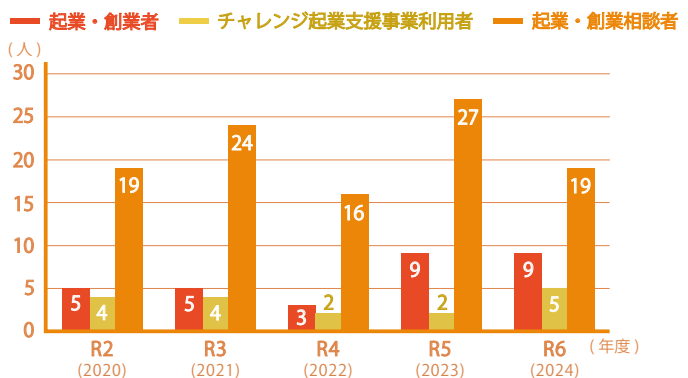
各団体等と連携して地域資源の発掘・活用を促進し、地域住民の交流の場を提供するほか、後継者やリーダーの育成、販売促進、環境に配慮したまちづくりを進めることで、新たな商業形態に対応し、地域に寄り添った商業の発展を図ります。

地域の活性化と多様な担い手の育成を目的として、若者や女性、移住者等が起業にチャレンジしやすい環境の整備と支援を行い、活力あるまちづくりを推進します。

2. 現状と課題

- ・商店街は、人々の生活を支え、歴史や文化を背景に賑わいと交流の場として存在してきましたが、人口減少による市場縮小、生活様式の多様化、オンライン取引の一般化などの流通の変化に伴い衰退傾向にあり、活性化に向けた投資は難しく、消費者の継続的な利用と効果的な事業展開に苦慮しています。
- ・近年では、個性ある店舗の誘致、空店舗のリノベーションに対する補助事業、起業創業支援により、地域活性化が段階的に進んでいます。さらなる活性化に向けて起業支援を促進するとともに、商店街が一体となり消費者に質の高いサービスを提供することで顧客満足度の向上を図る取組を支援していく必要があります。

■ 起業・創業者に関する推移



3. 施策の展開

○地域資源の活用及び地域経済活動の活性化の推進

- ・地域のつながりを大切にしたい、利用者のニーズに応える商業の構築を支援します。

主な取組

- ・地域内の消費促進事業への支援
- ・後継者やリーダー育成のための支援
- ・商業イベント事業への支援
- ・町内商店の販路拡大支援
- ・商業施設などの投資事業への助成

○起業・創業支援施策の推進

- ・個性と活力あふれる商店街創出のため、関係機関と連携し、起業支援を強化します。

主な取組

- ・空き店舗活用に対する支援
- ・創業塾、創業体験談セミナーの開催
- ・創業者支援のワンストップ窓口の開設
- ・創業支援計画に基づく創業者支援
- ・融資あっせん制度の充実化

関連個別計画

■認定創業支援等事業計画 2015年度認定 随時更新



第1節 産業の振興と発展

第4項 観光による地域づくり

1. 目指すこと

下諏訪町観光振興計画に掲げる「住んでよし、訪れてよしの観光都市しもすわへ」を実現するため、持続可能な観光地域づくりの考え方を取り入れ、住民や地域事業者等とともに地域の魅力を発信し、観光による地域づくりの推進を目指します。

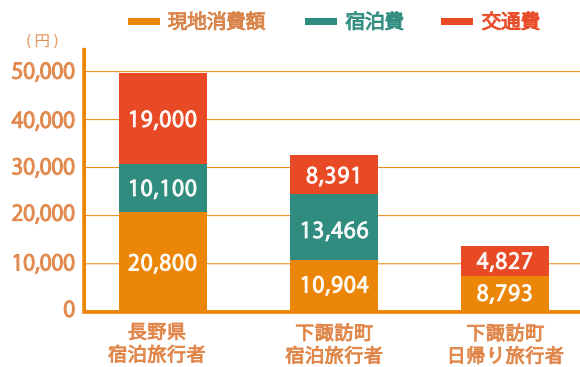
2. 現状と課題

- ・町は、観光スポットや観光施設等の地域資源に恵まれ多くの観光客が来訪するものの、小規模な宿泊施設が多いため、宿泊による町内への滞在は限定的で、飲食できる店舗も限られています。地域のイベントや交流事業による地域の活性化は促進されていますが、より積極的な地域事業者等の取組が求められています。
- ・(一社)下諏訪町地域開発公社 観光振興局による観光体験プログラム等を実施することにより、町内への滞在化と地域における消費を促しています。
- ・観光客に滞在してもらえらる仕組みを整えるため、観光客一人当たりの平均の現地消費額及び地域の経済波及効果を把握し、データを活用した効果的な観光施策を展開する必要があります。
- ・観光による地域づくりでは、持続可能な観光の考え方に基づき、住民と地域事業者等が一体となり地域づくりを推進するとともに、観光地をマネジメントする推進組織が求められています。また、観光客を受け入れるためには、住民の意識の向上を図るとともに、外国人旅行者が増加する現状を踏まえ、旅行者及び地域のニーズに合わせた観光施策を推進する必要があります。



湖畔から望む富士山

■旅行1回当たりの費用【令和6年(2024)】



長野県・じゃらん観光国内宿泊旅行調査
 下諏訪町・(一社)下諏訪町地域開発公社観光振興局 観光マーケティング調査
 ・諏訪大社周辺活性化事業効果検証調査(宿泊費のみ)

3. 施策の展開

○観光によるまちづくり

- ・持続可能な観光地域づくりを推進していることを住民・事業者・観光客と共有し、地域の意識統一と合わせて、観光による地域社会、経済の循環を図ります。

主な取組

- ・観光地域づくりによる観光地マネジメントの強化
- ・住民や地域事業者等との方向性の共有と連携
- ・住民意見の反映と観光における学びの推進
- ・旅行者意見の把握とプロモーションの促進
- ・住民との将来的なまちづくりの方向性の共有と推進
- ・観光における有事への備えの強化

○高付加価値な旅*¹の提案

- ・住民や地域事業者等との連携・協力関係を構築し、地産地消や地域貢献ができるよう付加価値の高い地域ならではの旅行、体験を提供します。

主な取組

- ・地域経済への貢献と働きがいのある仕事の充実
- ・地産地消・地域発にこだわった事業の推進
- ・地域資源の保全と活用
- ・安全と治安に関する対応の推進
- ・外国人旅行者を含む受入環境整備の推進

○地域活性化と受入環境整備

- ・町の貴重な資源を住民が再認識、再発見し、保全と活用を通して本物の価値を提供することで、歴史や伝統文化・環境保全等の一助とします。

主な取組

- ・町の景観保全、自然遺産及び文化遺産の保護と活用
- ・有形文化財の管理とお祭りを含む伝統文化の継承
- ・旅行者の把握と管理
- ・観光におけるゼロカーボン、リサイクル等への取組の推進
- ・次世代モビリティ*²への取組の推進

関連個別計画

- 下諏訪町観光振興計画 2024年度-2028年度

用語の解説

- *1 高付加価値な旅: その地域だから体験できる価値を商品化し、旅行単価が高い、観光客の人生観が変わる旅行のこと。
- *2 次世代モビリティ: AI や IoT などの技術を活用し、バスやタクシーなどの移動手段やシステムを進化させた新しい移動手段やサービスの総称。



第2節 活躍する人材の充実

第1項 働きやすい環境の整備

1. 目指すこと

町内事業者の人手不足を解消し、地域経済の活性化を図るため、リスクリング*¹等のキャリア形成支援やハラスメントのない職場環境の醸成、DX推進による業務の効率化と省力化に包括的に取り組み、地域特性を生かした労務対策に取り組むとともに、UIJターン*²の支援により県外からの移住者を町内の雇用につなげることを目指します。

2. 現状と課題

- ・ 少子高齢化により労働人口が減少しているほか、育児や介護等に追われ、働きたくても働けない方が一定数存在しています。多様な働き方を推進するため、テレワークやフレックスタイム制の導入、副業・兼業の解禁等による自由度の高い職場環境を整備することが必要です。
- ・ 国や県では、ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を実施している事業所の認証制度を推進していますが、より積極的な周知により、事業所における労働環境の改善意識を醸成していくことが必要です。
- ・ AIの飛躍的な進歩は、これまでの産業のあり方を大きく変えようとしています。こうした状況に対応できる人材の育成が急務であり、町内事業所と連携してリスクリングやDX人材の育成、労働市場の活性化を図り、雇用の確保につなげます。

3. 施策の展開

○町内事業所の雇用確保と人材の定着支援

- ・ 町内の事業所が必要な人材を確保し、安定的な経営ができるよう支援します。

主な取組

- ・ 労務対策協議会との連携
- ・ 合同就職説明会の定期的な開催
- ・ 地域企業情報の積極的な発信
- ・ 移住施策と連携した UIJ ターンの促進及び住環境・産業の魅力の発信

○勤労者福祉及び労働条件の向上

- ・ 誰もが自分らしく働き続けられるよう、町内事業所における勤労者福祉及び労働環境の向上を図ります。

主な取組

- ・ 諏訪湖勤労者福祉サービスセンターとの連携による勤労者福祉の向上
- ・ 勤労者生活資金の協調融資*³ あっせんの充実
- ・ 下諏訪町在住の従業員を対象とした、奨学金返還支援を実施している事業所に対する支援

○高齢者、障がい者の雇用促進

- ・ 高齢者の方や、障がいのある方の雇用を促進し、社会とのつながりを通じた生きがいと雇用を創出します。

主な取組

- ・ 事業主への雇用奨励金の交付
- ・ 障がい者計画に基づく就労支援
- ・ シルバー人材センターを活用した雇用の創出

○仕事と生活の調和

- ・育児や介護等と仕事を両立するため、労働福祉対策を推進します。

**主
な
取
組**

- ・ワーク・ライフ・バランスを尊重した働き方の推進
- ・育児介護休業制度の周知及び普及の推進
- ・ワーク・ライフ・バランスの改善に取り組んでいる事業所に対する国・県による認証制度の普及推進

関連個別計画

- 第4期下諏訪町障がい者計画 2024年度-2029年度

用語の解説

- *1 リスキング:新たな仕事や役割に対応するため、必要なスキルや知識を習得すること。
- *2 UIJ ターン:故郷から都市部に出て、また故郷に戻る「Uターン」、故郷から他の地方に移住する「Iターン」、故郷から都市部に移った後、故郷に近い地方都市に移住する「Jターン」の3タイプの移住形態の総称。
- *3 協調融資:金融機関単独ではなく、町や複数の機関と連携して行う融資。



第2節 活躍する人材の充実

第2項 移住定住促進・関係人口の増加

1. 目指すこと

将来にわたって持続可能で活力あるまちづくりを実現するため、町政の様々な分野における魅力向上に官民一体となって取り組み、多様な交流の促進や関係人口*1の拡大を通じて、まちへの誇りと愛着を育み、住民が住み続けたいまち、移住・定住先として「選ばれるまち」を目指します。

2. 現状と課題

- ・急速に進行する少子高齢化や若者世代の流出等によって、まちづくりや企業活動などあらゆる場面で将来的な担い手が不足し、地域の活力・賑わいが失われていくことが懸念されます。
- ・これまでに独自の移住・定住対策を推進し、首都圏からの移住者獲得や移住者の受け皿となる空き家の流通量を増加させるなど一定の成果を上げていますが、依然として転出超過の状況は変わらず、活力ある地域社会を維持するためには、豊かな自然や伝統文化、温泉などの地域資源やコンパクトで暮らしやすい生活環境などのまちの魅力为官民一体となって高めるとともに、交流の促進と関係人口の拡大を通じて、移住・定住者を増やしていく必要があります。

3. 施策の展開

○町への誇りと愛着の醸成

- ・地域資源を活用したまちの魅力向上に官民一体となって取り組み、体験・交流を通じて住民の町への誇りと愛着を育み、住み続けたいまちづくりを推進します。

主な取組

- ・観光、文化遺産、温泉など関係部署及び外部の関係機関と連携した魅力再発見及び活用促進
- ・シビックプライド*2の醸成に向けた学びや体験の充実
- ・住民と移住者、移住希望者等、多様な交流機会の創出・促進

○交流・関係人口の創出・拡大

- ・まちの魅力を最大限に生かした、魅力発信と交流促進による地域との接点づくりを推進します。

主な取組

- ・SNS、ウェブ、首都圏でのPR活動等、効果的な町の魅力発信
- ・町の自然や歴史・文化、暮らしに触れる交流・体験イベントの拡充
- ・二地域居住の推進
- ・広域連携による移住定住促進の強化
- ・ふるさと納税制度を活用したまちの魅力の発信

○移住者に寄り添ったワンストップサービスの実現

- ・安心して移住し暮らし続けられるよう、移住相談窓口において仕事や住環境、福祉施策など、求められる多様な情報の一元化と的確な提供を行います。

主な取組

- ・移住コーディネーターや地域おこし協力隊による移住定住の包括的サポート
- ・市内関係部署・関係機関・団体との連携の強化
- ・移住者、定住者へのアフターサポートの充実
- ・移住から定住までステージごと多様なニーズに応じた補助制度の推進と拡充
- ・官民連携で移住定住を促進する交流拠点の整備・活用

用語の解説

*1 関係人口：定住はしていないが、地域に継続的に多様な形で関わり、将来的には移住・定住につながる可能性がある人々のこと。

*2 シビックプライド：まちに対する誇りや愛着、共感を持ち、まちのために自分から発信・行動していこうとする意識のこと。